

2L系 (2L75)
4L系 (4L75)
4S系 (4S71・4S76・4S77・4S79)
6L系 (6L75)
6S系 (6S37・6S74・6S77・6S78・6S96・6S99)
68系 (6870・6890・6898・6899)
8L系 (8L36・8L75)



SEIKO WATCH CORPORATION

BGJCC01-2301

取扱説明書
Operating Instructions

このたびはクレドールをお買い上げいただき、
ありがとうございました。

日本人独自の感性と精緻をきわめた技術で、
世界に誇れる上質な腕時計をつくろう。
私たちはそうした想いを胸に、
高級腕時計の創造に情熱を傾けてきました。
クレドールとは、仏語で
「黄金の頂き = CRÊTE D'OR」を意味する名前です。
そこには、常に頂点であろうとする
確固たる決意が込められています。

末長くご愛用くださるようお願い申し上げます。

ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

商品に傷防止用の保護シールが貼られている場合があります。
必ずはがしてお使いください。貼られたままにしておくと、汚れ、汗、ごみ、
水分などが付着してさび発生の原因となります。

目次

■ 製品取り扱い上のご注意	3
■ 性能と型式について	4
■ 防水性能について	4
■ 防水性能に関するご注意	5
■ 製品の特長	6
■ 各部の名称	6
■ ご使用方法	12
・りゅうずについて	12
・ぜんまいの巻きかた	13
・パワーリザーブ表示について	13
・ご使用方法(秒針がついていないタイプの場合)	14
・ご使用方法(秒針または小秒針つきタイプの場合)	15
・ご使用方法(日付つきタイプの場合)	16
・ご使用方法(日付・曜日・24 時針つきタイプの場合)	18
・ご使用方法(日付・24 時針つきタイプの場合)	22
※ 世界の主な地域の時差一覧	26
・クロノグラフについて(6S 系)	27
■ ご注意いただきたいこと	31
・アフターサービスについて	31
・お手入れについて	32
・18K について	32
・時計本体・金属バンドについて	32
・バンドについて	33
・三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた	34
・耐磁性能について(磁気の影響)	35
・ルミブライトについて	36
・こんなときには	37
■ 製品仕様(ムーブメント)	38

■ 製品取り扱い上のご注意

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出てきた場合
- ※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談室にご連絡ください。

乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
- 5℃～35℃を外れる温度に長期間なるところ ○ 高湿度なところ
- 磁気や静電気の影響があるところ ○ ほこりの多いところ
- 強い振動のあるところ

アレルギーやかぶれを起こした場合

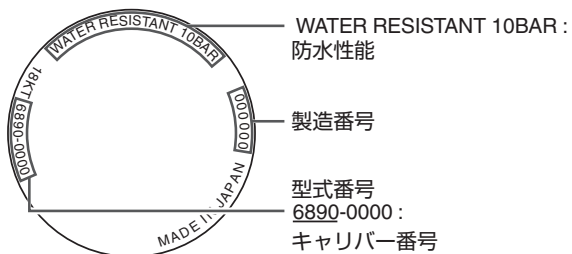
ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

その他のご注意

- 商品の分解・改造はしないでください。
- 時計本体の廃棄については、自治体の指示に従ってください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。けがやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
- 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。衣類や手・首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。
- 時計を外してそのまま置くと、裏ぶたとバンドや中留が擦れて、裏ぶた表面に傷が付く可能性がありますのでご注意ください。時計を外した場合は、柔らかい布等を挟んでおくことをおすすめします。

■ 性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。



- 防水性能
P.4 を参照ください。
- 型式番号
お客様の時計の種類を特定できる番号です。
- 製造番号
お客様の時計を特定できる番号です。

※上記の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。

■ 防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。

裏ぶた表示	防水性能	お取り扱い方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないでください。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。 警告 水泳には使用しないでください。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で 10(20)気圧防水です。	空気ポンプを使用しないスキューバダイビングに使用できます。

■ 防水性能に関するご注意

警告



この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください

スキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要なとされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。

注意



直接蛇口から水をかけることは避けてください

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。



水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください

時計内部に水分が入ることがあります。
※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
お早めにお買い上げ店・弊社お客様相談室にご相談ください。



水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください

防水時計でもガラスの接着面・バックインの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



入浴やサウナの際はご使用を避けてください

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

■ 製品の特長

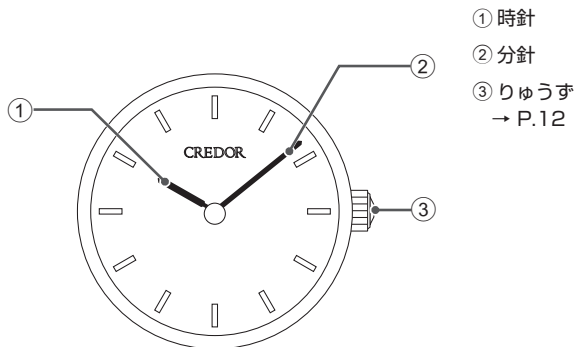
- この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- 止まった状態からご使用になるときは、りゅうずを 20 回位手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- 精度はクォーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差（一日あたりの進み・遅れ）となります。
- ご使用になる条件（携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等）によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。
- 外部から強い磁気の影響を受けると、精度がズれることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

■ 各部の名称

お客様の時計の型式番号を確認してから、各操作説明をご覧ください。
 型式番号は時計の裏側で確認することができます。「性能と型式について」→ P.4
 ※型式番号は時計の種類を示す番号です。
 ※表示の位置やデザインは、モデルによって異なる場合があります。

6870、6890、6899

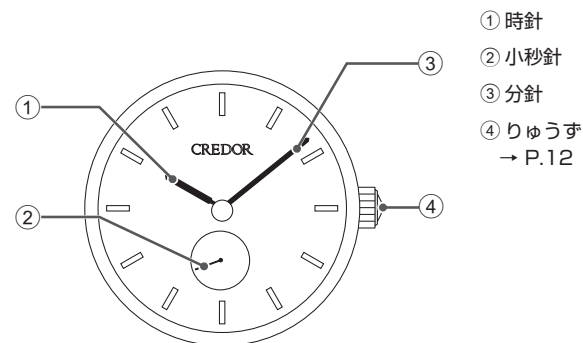
手巻
 世界で最も薄いクラス(1.98mm)のムーブメント



ぜんまいの巻きかた → P.13
 ご使用方法(秒針がついていないタイプの場合) → P.14

6898

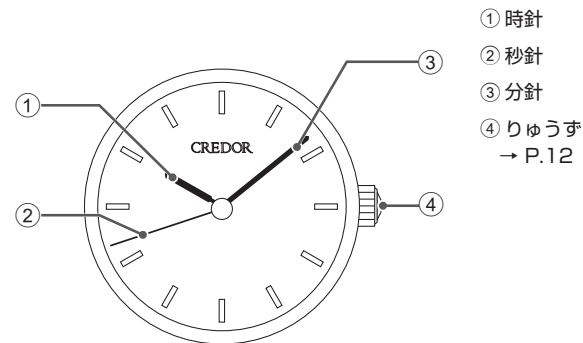
手巻
 世界で最も薄いクラス(1.98mm)のムーブメント



ぜんまいの巻きかた → P.13
 ご使用方法(秒針または小秒針つきタイプの場合) → P.15

4S71

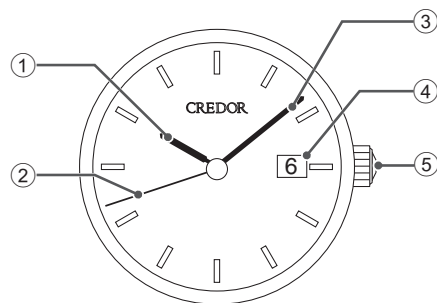
自動巻(手巻つき)



ぜんまいの巻きかた → P.13
 ご使用方法(秒針または小秒針つきタイプの場合) → P.15

2L75、4L75、6L75、8L75

自動巻(手巻つき)
日付つき

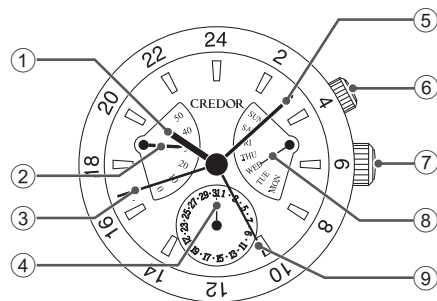


- ① 時針
- ② 秒針
- ③ 分針
- ④ 日付
- ⑤ りゅうず
→ P.12

ぜんまいの巻きかた → P.13
ご使用方法(日付つきタイプの場合) → P.16

4S76

自動巻(手巻つき)
レトログレード式曜針機能、時差修正機能、パワーリザーブ機能、24 時針、日付つき

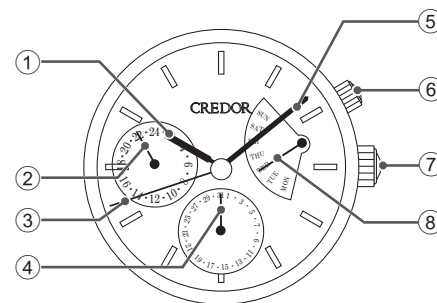


- ① 時針
- ② パワーリザーブ表示針
→ P.13
- ③ 秒針
- ④ 日針
- ⑤ 分針
- ⑥ 2 時位置りゅうず
- ⑦ 3 時位置りゅうず
→ P.12
- ⑧ 曜針
- ⑨ 24 時針

ぜんまいの巻きかた → P.13
ご使用方法(日付・曜日・24 時針つきタイプの場合) → P.18

4S77

自動巻(手巻つき)
レトログレード式曜針機能、時差修正機能、24 時針、日付つき

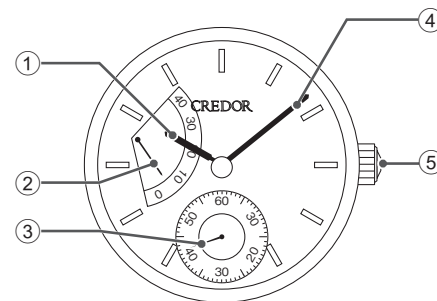


- ① 時針
- ② 24 時針
- ③ 秒針
- ④ 日針
- ⑤ 分針
- ⑥ 2 時位置りゅうず
- ⑦ 3 時位置りゅうず
→ P.12
- ⑧ 曜針

ぜんまいの巻きかた → P.13
ご使用方法(日付・曜日・24 時針つきタイプの場合) → P.18

4S79

手巻
パワーリザーブ機能つき

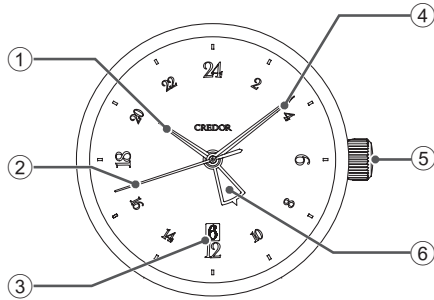


- ① 時針
- ② パワーリザーブ表示針
→ P.13
- ③ 小秒針
- ④ 分針
- ⑤ りゅうず
→ P.12

ぜんまいの巻きかた → P.13
ご使用方法(秒針または小秒針つきタイプの場合) → P.15

8L36

自動巻(手巻つき)
時差修正機能、24 時針、日付つき

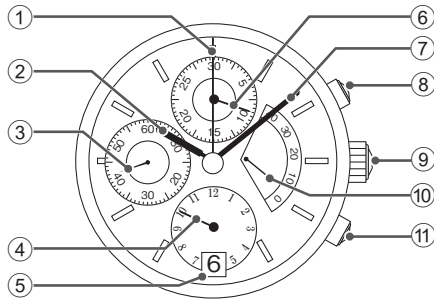


- ① 時針
- ② 秒針
- ③ 日付
- ④ 分針
- ⑤ りゅうず
→ P.12
- ⑥ 24 時針

ぜんまいの巻きかた→ P.13
ご使用方法(日付・24 時針つきタイプの場合)→ P.22

6S37、6S77

自動巻(手巻つき)
パワーリザーブ機能、クロノグラフ、日付つき

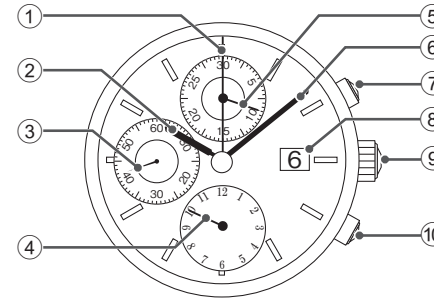


- ① センタークロノグラフ針(秒)
- ② 時針
- ③ 小秒針
- ④ クロノグラフ針(時)
- ⑤ 日付
- ⑥ クロノグラフ針(分)
- ⑦ 分針
- ⑧ スタート/ストップボタン
- ⑨ りゅうず
→ P.12
- ⑩ パワーリザーブ表示針
→ P.13
- ⑪ リセットボタン

ぜんまいの巻きかた→ P.13
ご使用方法(日付つきタイプの場合)→ P.16
クロノグラフについて(6S 系)→ P.27

6S78

自動巻(手巻つき)
クロノグラフ、日付つき

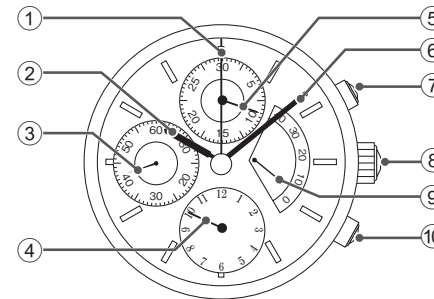


- ① センタークロノグラフ針(秒)
- ② 時針
- ③ 小秒針
- ④ クロノグラフ針(時)
- ⑤ クロノグラフ針(分)
- ⑥ 分針
- ⑦ スタート/ストップボタン
- ⑧ 日付
- ⑨ りゅうず
→ P.12
- ⑩ リセットボタン

ぜんまいの巻きかた→ P.13
ご使用方法(日付つきタイプの場合)→ P.16
クロノグラフについて(6S 系)→ P.27

6S74、6S96、6S99

6S74、6S99:手巻、6S96:自動巻(手巻つき)
パワーリザーブ機能、クロノグラフつき



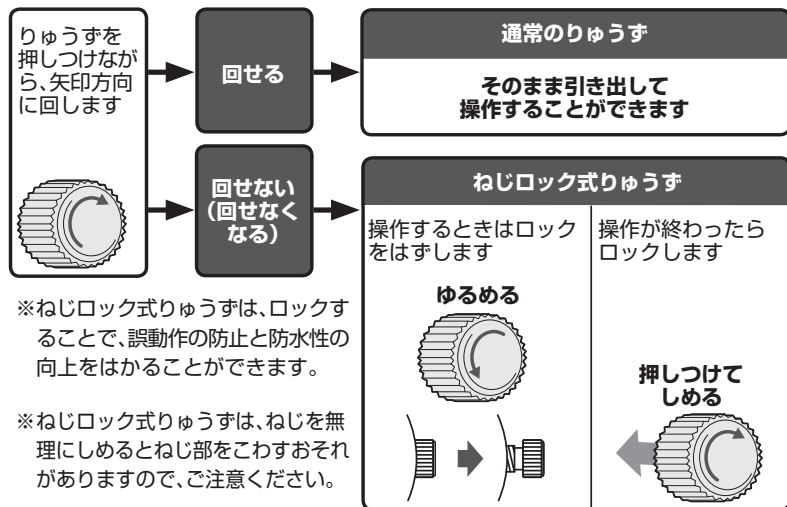
- ① センタークロノグラフ針(秒)
- ② 時針
- ③ 小秒針
- ④ クロノグラフ針(時)
- ⑤ クロノグラフ針(分)
- ⑥ 分針
- ⑦ スタート/ストップボタン
- ⑧ りゅうず
→ P.12
- ⑨ パワーリザーブ表示針
→ P.13
- ⑩ リセットボタン

ぜんまいの巻きかた→ P.13
ご使用方法(秒針または小秒針つきタイプの場合)→ P.15
クロノグラフについて(6S 系)→ P.27

■ ご使用方法

りゅうずについて

りゅうずには、通常のものと同ロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。

※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

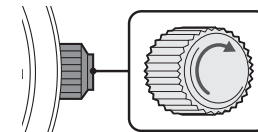
※りゅうずは時々回してください。→ P.32

ぜんまいの巻きかた

手巻(自動巻を手で巻くときも同様です。)

① りゅうずは引き出さないでください。
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)

② りゅうずを右(12時方向)にゆっくり回して、ぜんまいを巻き上げます。



※ぜんまいがフル巻上げに近付くと、りゅうずの回転が多少重くなりますが、これは巻上げられたぜんまいの反発力によるものですので異常ではありません。
※フル巻上げの状態からも更にりゅうずを回すことができる構造ですので、ぜんまいを切る心配はありませんが過剰な操作はお控えください。
(2L、4S、6L、6S、4L、8L系)

③ ぜんまいは毎日一定の時刻に十分巻いてご使用ください。
十分な巻き上げによってより安定した精度が得られます。

⚠ 注意

薄型の68系は、巻き上がるとりゅうずを回すのが重くなります。それ以上無理に力を入れるとぜんまいが切れる場合がありますのでご注意ください。

自動巻(手巻つき)

- ぜんまいは時計を腕に着けた状態では通常の腕の動きで自然に巻き上がります。またりゅうずを回してもぜんまいを巻くことができます。
- 止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずを回しぜんまいが十分に巻かれた状態にしまして、日付と時刻を合わせてから腕にお着けください。

※ぜんまいの巻き上げ量が不足しますと進み遅れの原因になりますので、一日10時間以上携帯することをおすすめします。また、時計を腕に着けないうちで使用する場合は、毎日一定の時刻にりゅうずを回しぜんまいを十分に巻いてご使用ください。

パワーリザーブ表示について

パワーリザーブ表示で、ぜんまいの巻き上げ状態(残量)のめやすが確認できます。時計を腕からはずして置いておくときは、次に使用(携帯)するときまで動き続けるかどうかをパワーリザーブ表示で確認し、必要に応じてぜんまいを巻き上げておきましょう。(時計を止めないようにして使い続けるためには、余裕を残して巻き上げるようにしましょう。)

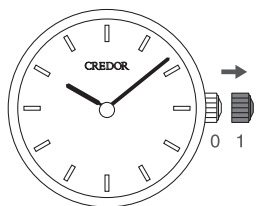
ご使用方法(秒針がついていないタイプの場合)

モデル:6870、6890、6899

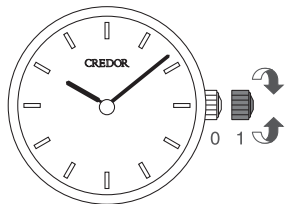
時刻の合わせかた

- ① 時計が動いていることを確認します。
操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。
動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。
「ぜんまいの巻きかた」→ P.13

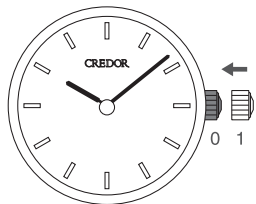
- ② りゅうずを引き出します。
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)
※68系はりゅうずを引き出した状態でも動き続けます。



- ③ りゅうずを回して、時刻を合わせます。



- ④ りゅうずを押し込みます。
(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)
※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117 が便利です。



⚠ 注意

機械式時計は輪列の機構上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

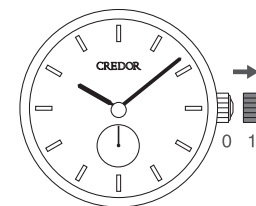
ご使用方法(秒針または小秒針つきタイプの場合)

モデル:6898、4S71、4S79、6S74、6S96、6S99

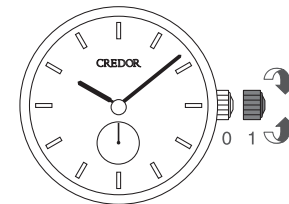
時刻の合わせかた

- ① 時計が動いていることを確認します。
操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。
動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。
「ぜんまいの巻きかた」→ P.13

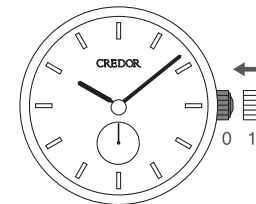
- ② りゅうずを引き出します。
秒針(小秒針)が「12時」の位置にきたときに引き出してください。秒針(小秒針)が止まります。
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)
※68系はりゅうずを引き出した状態でも、秒針(小秒針)が動き続けます。



- ③ りゅうずを回して、時刻を合わせます。



- ④ りゅうずを押し込みます。
時報と同時にりゅうずを押し込んでください。
(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)
※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117 が便利です。



⚠ 注意

機械式時計は輪列の機構上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

ご使用方法(日付つきタイプの場合)

モデル:2L75、4L75、6L75、8L75、6S37、6S77、6S78

⚠ 注意

時刻表示が午後 8 時から午前 2 時までの間、日付の修正をしないでください。
この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

時刻・日付の合わせかた

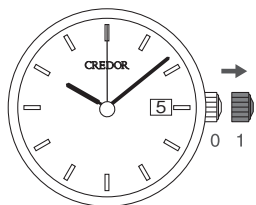
この時計には、日付表示機能がついています。24 時間に 1 回、日付を一日分送るようになっています。

日付は、「午前 0 時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の 12 時ごろに日付が変わってしまいます。

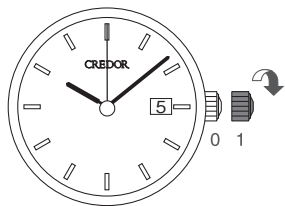
① 時計が動いていることを確認します。

操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。
動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。
「ぜんまいの巻きかた」→ P.13

② りゅうずを 1 段目まで引き出します。 (ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)



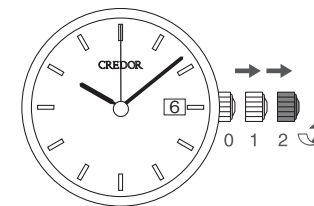
③ りゅうずを右方向(12 時方向)に回すことで、日付修正をします。 まず、合わせたい日の前日の日付に合わせます。



【例】 合わせる日付が「6 日」の場合、「5 日」に合わせます。

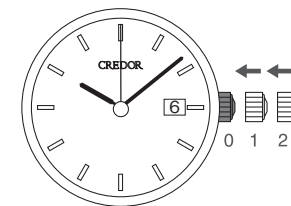
④ りゅうずを 2 段目まで引き出します。 秒針(小秒針)が「12 時」の位置にきたときに引き出してください。秒針(小秒針)が止まります。

りゅうずを針が進む方向に回し、日付が今日の日付になるまで回してください。日付が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。



⑤ 時報と同時にりゅうずを 0 段目まで押し込むと動き出します。 (ねじロック式の場合は、ロックしてください。)

※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117 が便利です。



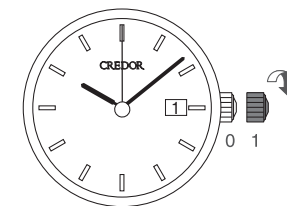
⚠ 注意

機械式時計は輪列の機構上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

月末の日付修正について

2 月(一カ月が 28 日、うるう年は 29 日)と小の月(一カ月が 30 日)では日付の修正が必要になります。

【例】 小の月の翌月 1 日の朝、日付を修正する場合「1 日」ではなく「31 日」が表示されています。りゅうずを 1 段目に引き出してください。りゅうずを右方向(12 時方向)に回し、日付を「1 日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。



⚠ 注意

- ねじロック式の場合は、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
- 時刻表示が午後 8 時から午前 2 時までの間、日付の修正をしないでください。故障の原因となる場合があります。

ご使用方法(日付・曜日・24 時針つきタイプの場合)

モデル:4S76、4S77

⚠ 注意

時刻表示が午後 9 時半から午前 2 時半までの間、日付・曜日の修正をしないでください。この時間帯に日付・曜日を修正しますと、翌日になっても日付・曜日が切り変わらないことや、故障の原因となる場合があります。

時刻・日付・曜日の合わせかた

この時計には、日付・曜日表示機能がついています。24 時間に 1 回、日付・曜日を一日分送るようになっていきます。

日付は「午前 0 時」ごろ、曜日は「午前 2 時半」ごろ送るようになっていきます。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、日付はお昼の 12 時ごろ、曜日は午後 2 時半ごろに変わってしまいます。

① 時計が動いていることを確認します。

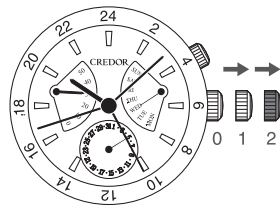
操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。

動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。

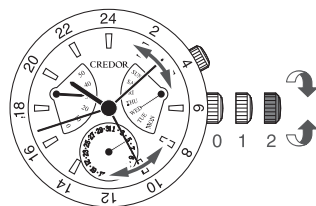
「ぜんまいの巻きかた」→ P.13

② 2 時位置りゅうずを 2 段目まで引き出します。

(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)



③ 3 時位置りゅうずを回転させ、「24 時針」と「分針」を 12 時位置に合わせます。

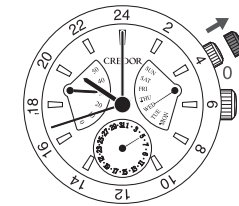


④ 3 時位置りゅうずを 0 段目まで押し込みます。

※時針が 12 時位置に合っていない場合は、手順 5 に進んでください。

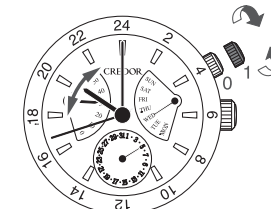
時針が 12 時位置に合っている場合は、手順 8 に進んでください。

⑤ 2 時位置りゅうずを 1 段目まで引き出します。



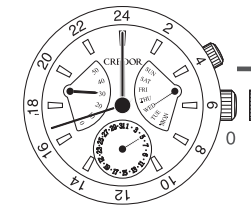
⑥ 2 時位置りゅうずを回転させ、「時針」を 12 時位置に合わせます。

※りゅうずはどちらの方向に回しても問題はありません。



⑦ 2 時位置りゅうずを 0 段目まで押し込みます。

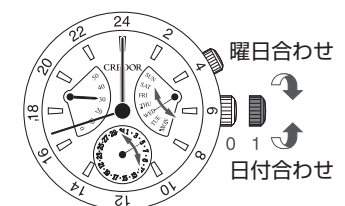
⑧ 3 時位置りゅうずを 1 段目まで引き出します。



⑨ 3 時位置りゅうずを回転させ、「日付」と「曜日」を合わせたい日の前日の日付・曜日に合わせます。

【例】 合わせる日付が「6 日」の場合、「5 日」に合わせます。

りゅうずを左方向(6 時方向)に回すと日付合わせが、右方向(12 時方向)に回すと曜日合わせが行なえます。



※曜日修正は針が 2 段階で一目盛り動きます。確認をしながら合わせてください。

※りゅうずを右方向に回して「曜日修正」を行うと、同時にぜんまいも巻き上がり、りゅうずの巻き上げが若干重くなりますが異常ではありません。

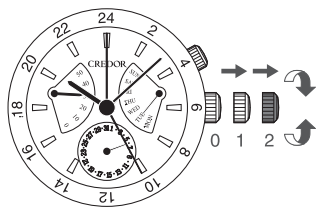
⑩ 3 時位置りゅうずを 2 段目まで引き出します。

秒針が「12 時」の位置にきたときに引き出してください。(秒針が止まります。)

3 時位置りゅうずを針が進む方向に回し、日付・曜日が今日の日付・曜日になるまで回してください。日付・曜日が変わると「午前」です。さらに進めて現在の時刻に合わせます。

⑪ 時報と同時に 3 時位置りゅうずを 0 段目まで押し込むと動き出します。(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)

※時刻合わせは、電話の時報サービス TEL.117 が便利です。



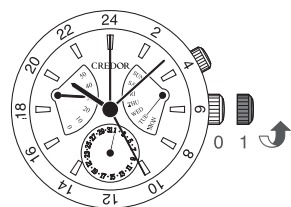
⚠ 注意

- 機械式時計は輪列の機構上、時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。
- 曜針が月曜日の位置にあるときに午前 1 時付近で分針を戻し方向に動かすと、時計が空回りすることがありますので、この時間帯は避けて操作してください。この現象は分針を進行方向のみで針合わせをしていただければ起こりません。

月末の日付修正について

2 月(一カ月が 28 日、うるう年は 29 日)と小の月(一カ月が 30 日)では日付の修正が必要になります。

【例】 小の月の翌月 1 日の朝、日付を修正する場合「1 日」ではなく「31 日」が表示されています。りゅうずを 1 段目に引き出してください。りゅうずを左方向(6 時方向)に回し、日付を「1 日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。



⚠ 注意

- ねじロック式の場合は、必ずりゅうずを元通りに締めてください。
- 時刻表示が午後 9 時半から午前 2 時半までの間、日付の修正をしないでください。故障の原因となる場合があります。

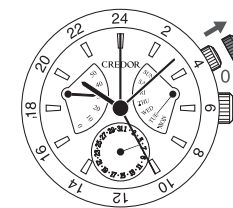
時差修正機能について

2 時位置りゅうずの操作により、時針のみを単独で 1 時間単位で修正する「時差修正機能」を備えています。

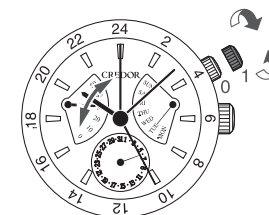
海外で使用する場合、時計の分針・秒針を止めずに現地時刻に合わせることができます。また、24 時針(GMT 針)を使用して、ホームタイムとローカルタイムを同時に表示することができるデュアルタイム仕様としての利用も可能です。

時差修正機能の使いかた

① 3 時位置りゅうずが 0 段目であることを確認の上、2 時位置りゅうずを 1 段目に引き出します。



② 2 時位置りゅうずを回して目的地の時刻に合わせます。



③ 時計合わせが終わったら、2 時位置りゅうずを 0 段目までに押し込みます。
※時針を現地時刻(ローカルタイム)に修正した後も、24 時針は元の時刻(ホームタイム)を表示したままです。デュアルタイムとして使用できます。

⚠ 注意

2 時位置りゅうずでの時差修正の際、3 時位置りゅうずを 2 段目(針回し状態)のままりゅうず操作しますと、時差修正が空振りして時差修正ができない恐れがあります。必ず 3 時位置りゅうずを 0 段目に押し込んだ状態で操作してください。

ご使用方法(日付・24時針つきタイプの場合)

モデル:8L36

時刻・日付の合わせかた

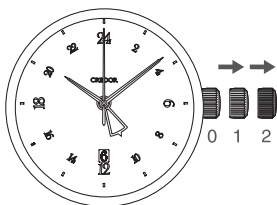
この時計には、日付表示機能がついています。24時間に1回、日付を一日分送るようになっています。

日付は、「午前0時」ごろ送るようになっています。よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の12時ごろに日付が変わってしまいます。

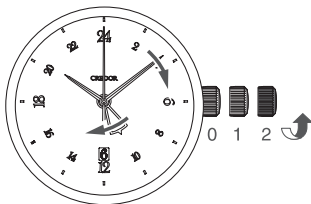
時刻・日付を合わせるときは、24時針と分針を最初に合わせ、その後で時針と日付を合わせます。

- ① 時計が動いていることを確認します。
操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。
動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。
「ぜんまいの巻きかた」→ P.13

- ② りゅうずを2段目まで引き出します。
秒針が「12時」の位置にきたときに引き出してください。(秒針が止まります。)
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)

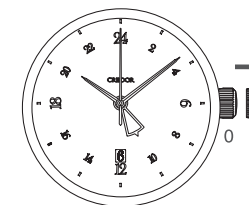


- ③ りゅうずを回し、まずは分針と24時針を現在の時刻に合わせます。
合わせたい時刻の手前から、分針をゆっくり進めて合わせてください。
※時針が、合わせたい時刻とは異なる時刻を指しているときや、時針の位置によって日付が変わることがありますが、まず先に、分針と24時針を合わせましょう。

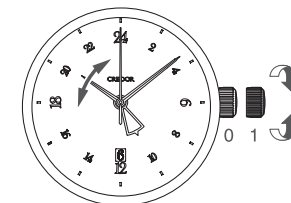


- ④ 時報などに合わせてりゅうずを押し込みます。
※これで24時針、分針、秒針が合った状態になります。

- ⑤ 次に、時針と日付を合わせます。りゅうずを1段目まで引き出します。



- ⑥ りゅうずを回して時針を合わせます。
りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前0時です。午前・午後を確認して時刻を合わせましょう。
日付を合わせたいときは、ここで一緒に合わせてください。



※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ日付修正が少ない方向で合わせてください。

※りゅうずを回すときは、時針の一時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。

※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

※午後10時～午前0時の間に時針を逆回転して日付を合わせる場合は、いったん9時まで時針を戻してから合わせてください。

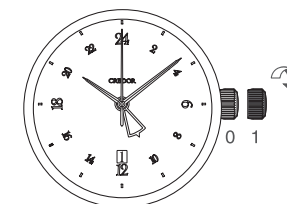
※時針を逆回転した場合は午後10時付近で日付が戻りますが故障ではありません。

- ⑦ りゅうずを押し込むと操作は完了です。
(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)

月末の日付修正について

2月(一カ月が28日、うるう年は29日)と小の月(一カ月が30日)では日付の修正が必要になります。

【例】 小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合
「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。りゅうずを右方向(12時方向)に回し、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。



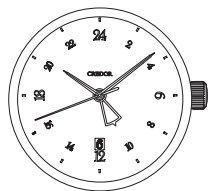
⚠ 注意

ねじロック式の場合は、必ずりゅうずを元通りに締めてください。

24 時針の使いかた

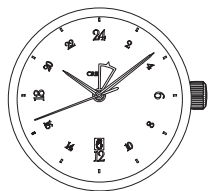
24 時針には以下の 2 つの機能があります。
デュアルタイムとして使う場合は、24 時針と時針を別々の時刻に合わせます。

タイプ 1 : 午前・午後を区別する タイプ 2 : デュアルタイムとして使う



時分針が示す時刻を 24 時間制で表示する
(通常の使いかた)

時分針、24 時針ともに日本時間(午前 10 時)



時差修正機能を使って、時分針が示す時刻とは異なる地域の時刻を表示する
(一時間以上の時差がある地域の時刻)

時分針 : 日本時間(午前 10 時)
24 時針 : ロンドン時間(午前 1 時)

時差修正機能について

時差のある地域へ移動するときなどに、簡単に目的地の時刻に合わせられます。操作のときに時計を止めることはありません。

時針は目的地の時刻を示し、24 時針は元の地域の時刻を示します。

時針は日付と連動しているため、正しい操作が行なわれると目的地の日付を表示します。

時差修正機能の使いかた

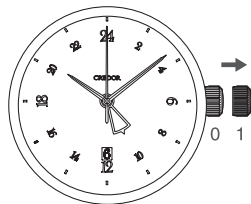
① 時計が動いていることを確認します。

操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。

動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。

「ぜんまいの巻きかた」→ P.13

② りゅうずを 1 段目まで引き出します。
(ねじロック式の場合は、ロックを解除してください。)

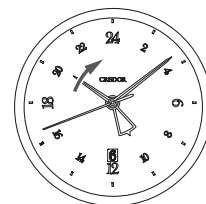


③ りゅうずを回して目的地の時刻に合わせます。

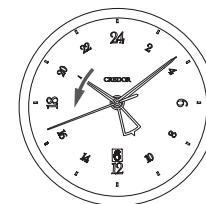
午前・午後、日付を確認して合わせましょう。

※この操作では時針と日付が連動して動きます。

そのため、時刻の午前・午後が合っていないと、日付が半日ずれることがあります。
「世界の主な地域の時差一覧」→ P.26



右方向
(12 時方向)
に回す:
プラス一時間



左方向
(6 時方向)
に回す:
マイナス一時間

※りゅうずはどちらの方向へも回せますが、できるだけ修正が少ない方向で合わせてください。

※りゅうずを回すときは、時針の一時間単位の動きを確認しながら、ゆっくりと回してください。

※りゅうずを回したときに日付が変わるところが午前 0 時です。

※時針を合わせているときに、他の針が少し動くことがあります。故障ではありません。

※午後 10 時～午前 0 時の間に時針を逆回転して日付を合わせる場合は、いったん 9 時台まで時針を戻してから合わせてください。

※時針を逆回転した場合は午後 10 時付近で日付が戻りますが故障ではありません。

④ 操作が終わったら、時刻が合っているかどうかを確認してりゅうずを押し込んでください。これで操作は完了です。
(ねじロック式の場合は、ロックしてください。)

世界の主な地域の時差一覧

※世界各地には協定世界時(UTC)を基準にした時刻の差、時差があります。世界各地は1時間ごとの時差を持つ24の地域に分けられており、地球1周で24時間(1日)になるように、国際的に運用しています。地域によっては個別にサマータイム(夏時間)が設定されています。

※サマータイムは時差+1時間で、夏の間に時刻を1時間進めて、昼間の時間を長くする制度です。

都市名	協定世界時(UTC)からの時差	日本標準時(JST)からの時差	その他の地域
東京	+9 時間	0 時間	ソウル、平壤
北京	+8 時間	-1 時間	香港、シンガポール
バンコク	+7 時間	-2 時間	ジャカルタ
ダッカ	+6 時間	-3 時間	
カラチ	+5 時間	-4 時間	
ドバイ	+4 時間	-5 時間	
ジッダ	+3 時間	-6 時間	バグダッド
カイロ	+2 時間	-7 時間	★アテネ
★パリ	+1 時間	-8 時間	★ローマ、★ベルリン
★ロンドン	0 時間	-9 時間	★リスボン
★アゾレス諸島	-1 時間	-10 時間	
リオデジャネイロ	-3 時間	-12 時間	
サントドミンゴ	-4 時間	-13 時間	
★ニューヨーク	-5 時間	-14 時間	★モントリオール
★シカゴ	-6 時間	-15 時間	★メキシコシティ
★デンバー	-7 時間	-16 時間	
★ロサンゼルス	-8 時間	-17 時間	★バンクーバー
★アンカレッジ	-9 時間	-18 時間	
ホノルル	-10 時間	-19 時間	
ミッドウェー島	-11 時間	-20 時間	
★ウェリントン	+12 時間	+3 時間	★オークランド
ヌーメア	+11 時間	+2 時間	
★シドニー	+10 時間	+1 時間	グアム

※★印の地域ではサマータイムが導入されています。

※各地域の時差およびサマータイムの有無は、2023年1月時点の情報に基づいておりません。これらは、国または地域の都合により変更される場合があります。

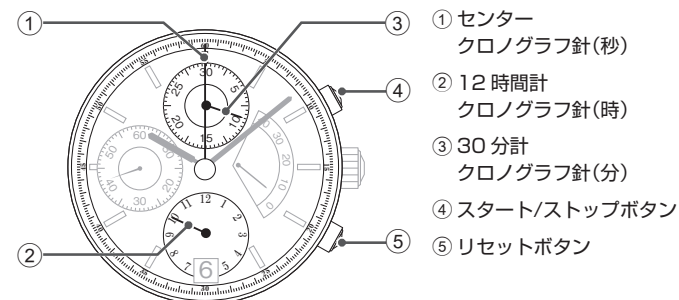
クロノグラフについて(6S系)

クロノグラフとは、ストップウォッチ機能と時刻表示機能を合わせ持った時計のことです。この時計では、1/8秒単位で最大12時間まで計測することができます。

お使いになる前に

- ① ぜんまいを十分に巻き上げてください。
ストップウォッチ機能を使うときは、必ず時計が駆動している状態で行ってください。
- ② センタークロノグラフ針が0位置に合っているか確認してください。
合っていないときはリセットボタンを押してください。
※ストップウォッチ機能の動作中にリゅうずを引きますと、計測が止まりますのでご注意ください。

クロノグラフ部の名称とはたらき



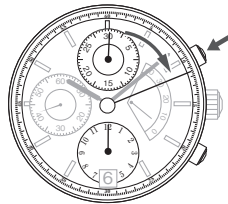
※表示の位置やデザインは、モデルによって異なることがあります。

クロノグラフ(ストップウォッチ機能)の使いかた

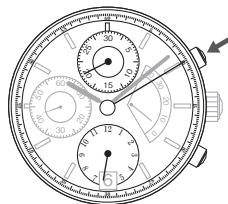
スタート/ストップボタンを押して計測します。
スタート/ストップボタンを繰り返し押しすと、積算計測することができます。

① ゼんまいが巻き上げられた状態で、時計が動いていることを確認します。

② 計測を始める
スタート/ストップボタンを押すとクロノグラフ針が動き、計測が始まります。



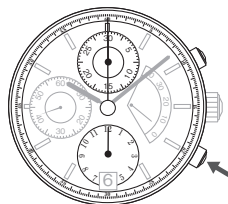
③ 計測をとめる
計測したいタイミングで再度スタート/ストップボタンを押すとクロノグラフ針が止まります。



【例】 6時間 20分 10秒 0

※30分計は1時間で2周します。
30分計を読み取るときは、12時間計の表示をめやすにしてください。

④ 針を戻す
ストップした状態でリセットボタンを押すとすべてのクロノグラフ針が0位置に戻ります。



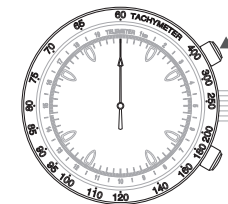
タキメーター(TACHYMETER)の使いかた

単位時間あたりの時速や出来高などを簡単に測定できます。

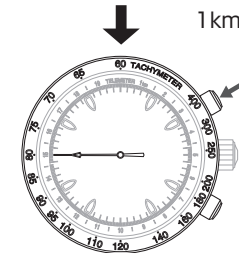
時速を測定する場合

【例】 1km 走るのに要した時間を計測します。

① スタート時に「スタート/ストップボタン」を押し、ストップウォッチをスタートさせます。



② 1km 地点に到達時に「スタート/ストップボタン」を押し、ストップウォッチをストップさせ、センターストップウォッチ針(秒)が指した位置の「タキメーター」の数字を読み取ります。

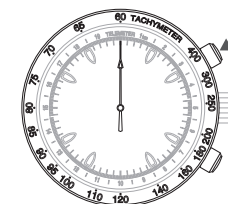


計測結果から「80km/時」と読み取ります。

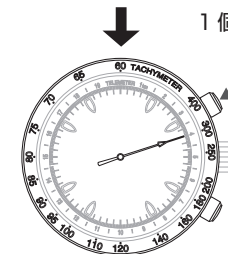
1時間あたりの出来高を求める場合

【例】 製品1個ができあがるのに要した時間を計測します。

① 製品製造開始時に「スタート/ストップボタン」を押し、ストップウォッチをスタートさせます。



② 製品完成時に「スタート/ストップボタン」を押し、ストップウォッチをストップさせ、センターストップウォッチ針(秒)が指した位置の「タキメーター」の数字を読み取ります。



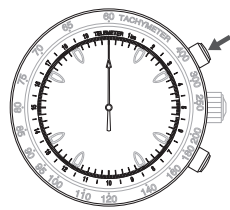
計測結果から「300個/1時間あたり」と読み取ります。

テレメーター(TELEMETER)の使いかた

ある事象(例:雷)が見えてから、それによる音が聞こえるまでの時間を測定し、その音の発生場所までの距離を換算表示する機能です。

【例】 雷が見えてから音が聞こえるまでに要した時間を計測します。

- ① 雷が光ったときに「スタート/ストップボタン」を押し、ストップウォッチをスタートさせます。
- ② 雷鳴が聞こえたときに「スタート/ストップボタン」を押し、ストップウォッチをストップさせ、センターストップウォッチ針(秒)が指した位置の「テレメーター」の数字を読み取ります。



雷鳴が聞こえるまでの時間



計測結果から自分のいる地点から雷が発生している地点まで「8km」と読み取ります。

■ ご注意いただきたいこと

アフターサービスについて

保証と修理について

- 修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談室にご依頼ください。
- 保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- 保証内容は保証書に記載したとおりです。
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

補修用性能部品について

- この時計の補修用性能部品の保有期間は通常 10 年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- 修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

- 長くご愛用いただくために、2年~3年に一度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。
- この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。特にお買い上げ後 2年~3年の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。
またバッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、バッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

お手入れについて

日ごろからこまめにお手入れしてください

- 時計本体、バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。
汚れたままにしておくと衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがあります。
時計を外したときは、早めに柔らかい布などで汗や水分をふき取って、常に清潔にしてお使いください。
- その際はクリーナー等薬品は使用しないでください。

りゅうずは時々回してください(ゆっくりと数回で結構です)

- りゅうずのさびつきを防止し、使用しているパッキンの寿命も延びます。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。(りゅうずを引き出す必要はありません。)
「りゅうずについて」→ P.12
- ステンレスはさびにくい金属ですが、汚れをそのままにしておくとさびやすくなります。

18Kについて

- 18K(18KT)は金 75%とその他の金属との合金です。
他の金属の混ぜ具合によってイエローゴールド(YG)、ホワイトゴールド(WG)、ピンクゴールド(PG)の色分けをします。

18Kの変色

- 合金であることから金自体は変色しませんが、その他の金属がさまざまな原因で変色(赤味、黒ずみ)を起こすことがあります。
- 日頃の手入れも重要ですが、拭いても取れない時は仕上げ直しをお買い上げ店にご依頼ください。(有料となります。)

時計本体・金属バンドについて

バンドの長さ調整(カット・寸延ばし)について

- 18K およびプラチナのバンドの長さ調整は、お買い上げ店にご依頼ください。
クレドールサービススタジオでお預かりして加工いたします。
モデルによって 2~3 週間程度の納期をいただきます。
- 18K およびプラチナ、SS メッシュのバンドの長さ調整は初回のみ無料です。ただし、寸延ばしに必要な材料・部品代および別途発生する修理代はご請求させていただきます。
- ステンレススチールのバンドの長さ調整は、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご依頼ください。その他のお店では有料もしくはお取り扱いいただけない場合があります。

定期的な汚れ落としのおすすめ

- 長くご使用いただくために、定期的な汚れ落としをおすすめします。
その際は、お買い上げ店もしくはお店経由でクレドールサービススタジオにご依頼ください。(有料となる場合があります。)

バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。
長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- 水や汗・汚れは、早めに柔らかい布でふき取ってください。
- バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかい歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
残った水分は柔らかい布でふき取ってください。
- チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- 万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド

- 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- 時計本体が日常生活用強化防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド

- 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護してください。)
- 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

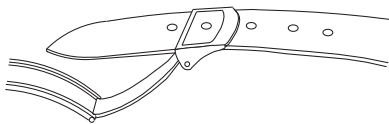
バンドサイズのめやすについて

バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。
時計を着けた状態で、指一本入る程度が適当です。



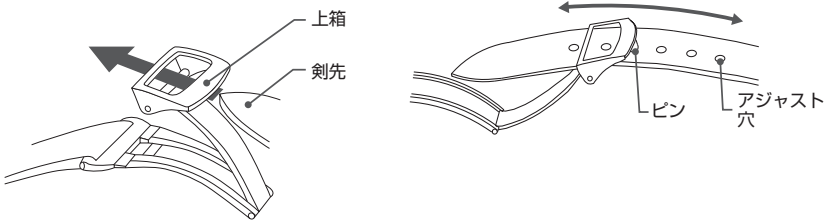
三つ折れ式中留(なかどめ)の使いかた

三つ折れ式中留



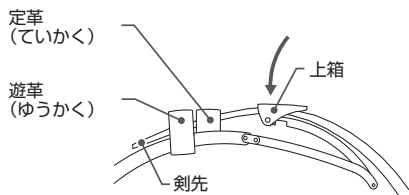
バンドの長さを調節するには

- ① バンドの剣先を図のように上箱に通してください。
- ② バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。



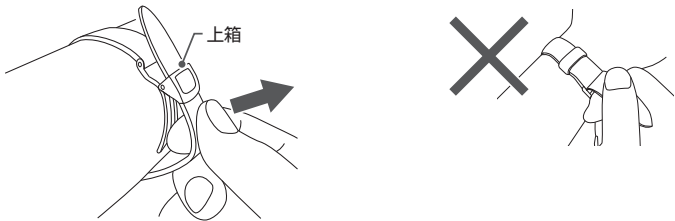
着けかた

バンドの剣先を定革・遊革に入れてから、上箱を上からしっかり押さえ、留めます。



外しかた

バンドと中留の間に指を入れ、手前に引いて開きます。
※バンドを持って開くことは避けてください。バンドが傷む原因となります。



※上記の方法で開きにくいときは、上箱の側面を持ち、中留を開いてください。

耐磁性能について(磁気の影響)

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。
この時計については、JIS1 種相当の耐磁性能があります。

お取り扱い方法	
磁気製品より 5cm 以上遠ざける必要があります。	(JIS1 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁力の影響を受けます。

ルミブライトについて

お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約 10 分間:500 ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約 3 時間~5 時間)発光します。光が当たらなくなってから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。
 ※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。始めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)
 ※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

照度のめやすについて

環境		明るさ(照度)のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内(昼間窓際)	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000~3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 (白色蛍光灯 40W の下で)	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

こんなときには

現象	考えられる原因	このようにしてください
時計が止まった。	ぜんまいが巻かれていない。	ぜんまいを手で巻くか、または数回振れば動き出します。それでも、動かない場合は、お買い上げ店にご相談ください。
時計が進む/遅れる。	暑いところまたは寒いところに長く置いた。	精度は、常温にもどれば元にもどります。
	磁気を発生するものそばに置いた。	精度は、元にもどりません。元の精度に戻すためには、脱磁(修理)をする必要があります。お買い上げ店にご相談ください。
	落としたり強くぶつけたり、または激しいスポーツをした。強い振動が加えられた。	精度は、元にもどりません。お買い上げ店にご相談ください。
日付が日中に変わる。	3 年を越える長期間、分解掃除による点検調整を行っていない。	お買い上げ店にご相談ください。
	時刻合わせが 12 時間ずれている。	12 時間、針を進めて時刻および日付を合わせ直してください。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。	お買い上げ店にご相談ください。

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

■ 製品仕様(ムーブメント)

機種	6870	6890	6899	6898
機能	時・分			時・分・小秒針
振動数 / 1 時間	21,600			
精度	日差+ 25 秒~-15 秒			
駆動方式 ぜんまい巻	手巻			
持続時間	約 37 時間			
使用石数	22 石		26 石	

機種	2L75	4L75	6L75	8L75	8L36
機能	時・分・秒、日付				時・分・秒、24 時針
振動数 / 1 時間	28,800				
精度	日差+ 25 秒~-15 秒	日差+ 15 秒~-10 秒			
駆動方式 ぜんまい巻	自動巻(手巻つき)				
持続時間	約 50 時間	約 42 時間	約 45 時間	約 50 時間	
使用石数	35 石	25 石	26 石		27 石

機種	4S71	4S76	4S77	4S79
機能	時・分・秒	時・分・秒、24 時針、パワーリザーブ表示針、日針、曜針	時・分・秒、24 時針、日針、曜針	時・分・小秒針、パワーリザーブ表示針
振動数 / 1 時間	28,800			
精度	日差+ 15 秒~-10 秒			
駆動方式 ぜんまい巻	自動巻(手巻つき)			手巻
持続時間	約 40 時間	約 50 時間		約 40 時間
使用石数	25 石	31 石	28 石	31 石

機種	6S37	6S77	6S78
機能	時・分・小秒針、日付、パワーリザーブ表示針、クロノグラフ針(秒・分・時)		時・分・小秒針、日付、クロノグラフ針(秒・分・時)
振動数 / 1 時間	28,800		
精度	日差+ 15 秒~-10 秒		
駆動方式 ぜんまい巻	自動巻(手巻つき)		
持続時間	約 50 時間		
使用石数	40 石		34 石

機種	6S96	6S74	6S99
機能	時・分・小秒針、パワーリザーブ表示針、クロノグラフ針(秒・分・時)		
振動数 / 1 時間	28,800		
精度	日差+ 15 秒~-10 秒		
駆動方式 ぜんまい巻	自動巻(手巻つき)	手巻	
持続時間	約 60 時間		
使用石数	38 石	35 石	

※上記精度は工場出荷時に調整されたものです。
 ※メカニカルウォッチの特性上、ご使用になる条件(携帯条件・温度・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ量など)によっては、上記精度の範囲を超える場合があります。

セイコーウォッチ株式会社
<https://www.seikowatches.com/>
<http://www.credor.com/>

お客様相談室
お電話でのお問い合わせ
0120-302-617 (通話料無料)

受付時間 (月曜日～金曜日) 9:30～21:00
(土曜・日曜・祝日・年末年始) 9:30～17:30